

【取組内容】スケジュール支援による授業

- 小単元での授業計画や授業一時間の大きな流れを提示し、授業に取り組みさせた。
- ルーブリック評価を提示し、一時間で達成する目標を個人で考えさせた。
→主体的に学ぶために、何を、どこまで学ぶのかを把握し、見通しをもたせ、取り組みさせた。

やること

○教科書の内容をよく読む。室町幕府のしくみとなることや重要語句を個人シートに書き出す。分からないことはタブレットで調べる。

○教科書の内容を再確認する。教師が説明する。

○本時の学習課題に対して自分の考えや答えがもてるように、どのシンキングツールが適しているかを考える。目標、10分程度で完成させる。

これ以降、
○席を立って、友達と相談しながら進めてもよい。
○自席で自ら取り組んでもよい。
○教師に聞いてもちろんOK

○本時の学習課題に対しての自分の考えや答えを記入する。早くシンキングツール、課題に対しての自分の考えや答えが書けた人同士で伝え合う。

○タブレットを持って席を立ち、友達と伝え合って共有する。
・伝え合う中で、説明に対してツッコミを入れる
→がんばって答える。調べてもOK。

○伝え合う中で、わかったことや気づいたこと、振り返りを追記していく。

めあて 低気圧周辺の前線を説明しよう。

○教科書 P.194～195

○キーワード

温帯低気圧 温暖前線 寒冷前線 積乱雲 乱層雲

○ポイント

①低気圧通過による天気の変化 ②通過による風向きの変化

○評価

A 通過による天気の変化を説明することができる

+ 通過による風向きの変化を説明することができる

B 通過による天気の変化を説明することができる

ルーブリック評価を提示